



# 照明普及会だより

第5号

発行 社団法人照明学会・照明普及会

〒100 東京都千代田区有楽町1-7-1  
有楽町電気ビル 北館5F  
平成元年8月



第33回維持員総会風景

平成元年5月22日 日本電気協会会議室

上：照明普及会会長(進藤純男)挨拶

右：照明普及賞表彰式

## 昭和63年照明普及賞受賞状況

昭和63年に建設された優秀な照明施設に対する維持員からの候補推薦は、全国から302件あり、選考の結果、76件の照明施設に対して維持員総会の席で表彰を実施した。各地区別の応募件数と表彰件数は以下のとおりである。

地区	応募数	表彰数
北海道地区	28件	6件
東北地区	31件	7件
東京地区	39件	15件
北陸地区	28件	5件
東海地区	44件	10件
関西地区	47件	11件
中国地区	16件	7件
四国地区	14件	6件
九州地区	55件	9件

また照明普及功労者については下記の各氏が表彰された。

氏名	所属	地区
今村智也	北電営配エンジニアリング (株)常務取締役	北海道
本間利雄	(株)本間利雄設計事務所 代表取締役	東北
太田源一郎	甲府商店街連盟会長	東京
佐々木幸一	大野商工会議所中小企業 相談所長	北陸

(吉田 記)

## 平成元年度事業計画

去る5月22日(月)開催された第33回照明普及会維持員総会で平成元年度の事業計画が決定した。昨年度発行した「ライトアップマニュアル」が好評で、その後も多くの施設例が報告されていることからこれらの施設例を収集する等、主な事業計画は以下のとおりである。

### (1) 普及活動支援体制の整備

各地区で実施する照明講演会、コンクール、コンサルティング等に対して、講師派遣等の支援体制を整備する。

### (2) ライトアップ事例集の作成準備

平成2年度刊行予定でライトアップ事例集の収集を実施する。

### (3) 照明普及賞の規約改訂

照明普及賞の一層の効果のアップを図るため、取り扱いの見直しを行う。

### (4) 優秀照明施設、照明普及功労者の表彰

例年どおり、平成元年に建設される照明施設および照明普及功労者を選考し、表彰を行う。

### (5) 「あかりの日」の啓蒙活動の実施

「あかりの日」(10月21日)の啓蒙活動を下記関連3団体と協力推進する。

- (社)日本電気協会
- (社)日本電球工業会

(社)日本照明器具工業会

### (6) 刊行物の発行

平成元年度の刊行物の発行計画は次のとおりである。

#### 照明教室

- ・No. 66 照明の基礎知識
- ・No. 67 光源
- ・No. 68 照明のコンサルティングQ&Aまたは住宅照明

#### あたらしい照明(カラーA4版)

- ・No. 108 63年度照明普及賞号
- ・No. 109 スポーツ照明または商店街照明

以上のような事業を遂行するために平成元年度は次の専門部会を設置した。

#### 新設の専門部会

- ・ライトアップ事例集専門部会(主査 米田徳光)
- ・普及活動支援体制整備検討専門部会  
(主査 国友 茂)
- ・照明普及賞規約改訂専門部会(主査 吉田 博)

#### 継続の専門部会

- ・普及会だより専門部会 (主査 仁科正明)
- ・照明教室専門部会 (主査 原田憲正)
- ・あたらしい照明専門部会 (主査 網島功太郎)

(吉田 記)

# 地区普及活動状況

## 1. 東京地区

「東京電力(株)が都市景観のための橋梁照明のあり方と具体的手法」について委託調査を実施

元来、都市という空間は、人々が集い、さまざまな活動を営むステージとしてその機能を拡大してきた。やがて、都市が成熟し、人々がこのステージに対して要求する内容も、その質を変えるようになってきた。今まで、都市の機能の中で常に注目を集めていた安全や衛生などの問題は既に当然のものとして受けとめられるようになり、新たな機能として、アメニティーの具現化が注目され始めた。

この様なトレンドの中、国や自治体はさまざまな都市景観整備の計画を実施に移し始めた。東京都や中央区では、水辺環境の景観に彩りを与えるため、水辺周辺や橋梁の整備など具体的整備を計画している。

東京電力でも、地域産業として地域の景観向上へのニーズに応え、電気事業者として、電気が生み出す付加価値の中でも古くからその中心的な役割を担

ってきた“照明”にスポットをあててこれをいかにして人々のアメニティー向上に寄与させていくかを検討することとした。その一環として、最近のウォーターフロントブームの中で脚光を浴びている“橋梁”にスポットを当てて、その景観照明のあり方を整理することとし、(株)照明学会に対し、「都市景観のための橋梁照明のあり方と具体的手法に関する調査」を委託し、本年3月その報告を受けた。報告書は、4つの章から構成されており、第1章は都市景観における橋梁および景観演出照明の意義を、第2章は橋梁照明の要件および実施するにあたって留意すべき法規・基準を、第3章は光源、器具、工法等に関する橋梁照明の手法へとソフト面からハード面へと展開している。また、第4章では具体的な事例も取り上げている。本書が、僅かでも、橋梁照明その他の都市景観整備の計画や企画に携わる方のお役に立てれば幸いである。

(東京電力(株)木崎紘一)

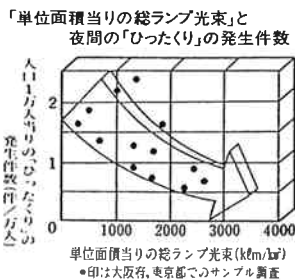
## 2. 関西地区

照明学会関西支部では、昭和60年度より関西電力株式会社から委託を受け、街路照明の適正化に関する調査研究委員会(委員長 野口 透 摂南大学教授)において、主として住宅地域の防犯照明の改善をねらいに調査研究を実施してきました。

活動方法として文献調査、現場調査・測定、アンケート調査ならびに実験・解析を実施し、これまでに分かったことのうち照明普及の面から特にポイントなるものを簡単に紹介します。

まず防犯照明の現状は照度、均斉度および設備メンテナンスなど決して十分な状態ではなく地域の多くの人々も防犯照明の改善、充実を望んでいることがわかりました。

また、防犯照明の効果の面では欧米において照明改善による犯罪減少の実績があるほか大阪、東京の13市区に対する調査でも、図のように照明を充実すれば路上犯罪が減少する傾向を示すデータが得られました。



このように照明による犯罪減少効果が期待でき、防犯照明充実の必要性が明らかになる一方で防犯照明の所要照度として次の照度が推奨されました。

水平面照度(平均値) : 5 (3) ルクス以上

鉛直面照度(最小値) : 1 (0.5) ルクス以上

( )内は緩和値

この推奨照度に基づき大阪府箕面市の住宅地内道路の約230mの区間に80W水銀灯13灯からなる実験設備が自治会、市、警察、照明関係メーカーの協力を得て完成し今後、照度改善の効果、光源種類に対する評価が実施される予定です。



また、これまでの結果を踏まえて防犯照明設置に関わるガイドラインを作成する計画となっており、技術的課題に関する対応は概ねその方向性が見出されたものと考えられます。

したがって、残る大きな課題は適正な防犯照明設備の普及はどうかということになります。

防犯灯の整備充実が非常にうまくいっている事例が東京にありました。それは、個々の防犯灯について設置から維持管理まで明確な基準に基づき行政側が一貫して実施しているものです。自治会による設置、維持管理の実施には不届きと限界があることは多くが認めており、今、大阪では照明関係者はもちろん警察等防犯関係者も行政に期待を寄せ、防犯照明の普及に向けて努力がなされています。

(関西電力(株)村井慎二)

## 「あかりの日」アンケート調査結果概要

10月21日の「あかりの日」の啓蒙活動の一環として、毎年関係4団体（照明普及会、日本電気協会、日本電球工業会、日本照明器具工業会）と共催し、あかりの小冊子と電球をセットした、特箱を街頭でPR配布を行っている。昨年の街頭配布時に、あかりに関するアンケート調査を実施しその結果の集約がまとまりましたのでその概要を紹介します。

### 1. 「あかりの日」の認知度

10月21日を「あかりの日」と知っていた人は40%強であった。

「あかりの日」を知ったPR媒体として最も高かったのは電力会社のPRとなっている。

### 2. 比較的新しい照明器具、光源の認知度と利用状況

(製品の認知度) (%)

	知っている	知らない
3波長形蛍光ランプ	76	24
電球形蛍光ランプ	89	11
コンパクト形蛍光ランプ	77	23
インバータ式照明器具	86	14

(製品の利用率) (%)

	使っている	使っていない
3波長形蛍光ランプ	81	19
電球形蛍光ランプ	62	38
コンパクト形蛍光ランプ	34	66
インバータ式照明器具	58	42

### 3. 照明製品の選定のポイント

照明製品を購入する場合、ランプについては明るさと価格に大きな関心を持っている。また、照明器具については、新築時には、デザインを重要視し、買い替え時には明るさを重要視している。

(事務局 記)

## 刊 行 物 紹 介

### 1. あたらしい照明 108号

「昭和63年照明普及賞号」



### 2. 照明教室 No.67「光 源」

……目次の紹介

- 1章 光源の歴史
- 2章 光とあかりの基礎知識
- 3章 白熱電球
- 4章 蛍光ランプ
- 5章 (HID)水銀ランプ
- 6章 (HID)メタルハライドランプ
- 7章 (HID)高圧ナトリウムランプ
- 8章 低圧ナトリウムランプ
- 9章 その他の光源

本年5月刊行の

「照明教室66.照明の基礎」



(事務局 記)

## 平成元年度事業報告

(平成元年6月～7月)

6月14日 照明普及会だより専門部会

- 第5号の編集について審議を決定した。
- 今年度発行分についての編集計画を行った。

6月21日 企画推進委員会

- 今年度の事業計画の具体的進め方について審議を行い、専門部会において具体的にすすめることとした。

7月11日 照明教室専門部会

- 今年度発行予定の照明教室68について企画審議した。
- また、主査、幹事の輪番制について検討し決定した。

7月20日 あたらしい照明専門部会

- あたらしい照明109号の特集内容について企画、検討した。 (事務局 記)